



西山木材加工事業の組合事業からの撤退

西山事業所木材加工事業は、旧西山森林組合と旧鬼無里村森林組合で事業を行っていました。平成13年合併により長野森林組合に継承し、旧工場のまま2拠点で事業展開を続けてまいりました。

旧西山森林組合時代には、製材加工だけでなく木のおもちゃなど木工品も手掛けておりました。一方の旧鬼無里村森林組合では、フローリング製造をはじめ賃引きも盛んに行われていました。地元組合員や工務店からも重宝され地域に根差した経営により森林組合の事業に大きな役割を果たしてきました。

合併後は、木工品加工やフローリング製造に代わり、木材加工事業を拡充するために平成18年には丸棒加工機の導入による丸太製造、平成22年にはオガ粉製造機導入によるオガ粉製造に取り組みました。その中で、ログガード、TICUBE製造、ログハウス建築、木工沈床材や木質ペレット燃料の取扱などにより平成23年には1億6900万円ほどの売上となりました。

しかしながら木質ペレット製造委託会社の廃業によりオガ粉製造の休止や近年の社会情勢の変化による業績悪化や既存施設の老朽化等を要因とする課題が浮上する中で、平成30年度に不採算事業の課題が浮上し、木材加工事業の将来の方向について検討することとなり、営業企画専門委員会や特別委員会で協議検討を重ねてまいりました。

検討中にも業績の改善策として新製品のための機械の改修や木工沈床材の回復注文などを試みましたが、将来への経営改善につながるような要因を見出すことができず、理事会で最終的に出された結論は、木材加工事業の組合経営からの撤退（※1）ということになりました。

今後当組合の木材加工機械は稼働しませんが、できる限り製材品の販売は引き続き行いたいと思いますので、ご愛顧のほどよろしく

お願いいたします。
西山木材加工事業は、長い歴史の幕を閉じることとなりました。誌面にて失礼ですが、特に地元に着宝され、育てていただきましたことに感謝申し上げますとともに、旧西山、旧鬼無里村森林組合の木材加工事業に携わった多くの皆様にご心より感謝申し上げます。

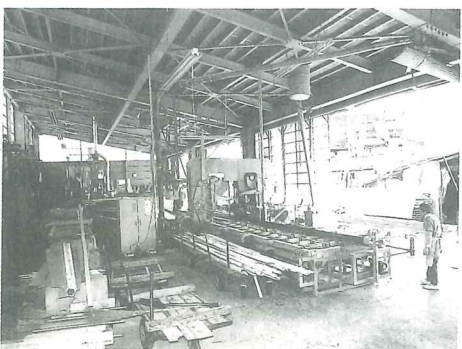
（※1）西山木材加工事業の撤退日
令和8年1月31日付け



木工品の包装紙に利用した絵柄



フローリング生産の全盛期



55年 小径木処理施設

フローリング生産最盛期

旧鬼無里森林組合時代の工場